各言語の入力方法概説

ヨーロッパ言語と中国語（大陸，台湾），韓国語の入力ロケールのキー配列を解説する。

- 日本語キーボードとの違いに注目しよう。
  - 入力ロケールにより，(特に記号の)キー割り当てが大きく異なる。
  - 日本語入力にはない，特別な**切り替えキー**が使われる。
  - 入力システムによって，CapsLock を On にする方法も変わる。言語によっては，Shift なしで CapsLock を押す。
  - 漢字キー(半角／全角キー)にも，文字が割り当てられることがある。
  - 入力システムによっては日本語キーボードで用いないキーがある。
- 言語によって，キーボードレイアウトを変更するものと，入力システム(IME)を指定するものがある。後者の場合は入力方法の詳細を設定できる場合がある。

1. ヨーロッパ言語

- ヨーロッパ言語のほとんどで，Caps Lock キー，Shift キーに加え，**右 Alt キー**[1] が**切り替えキー**(state key)として使われる。以下は「英語（英国)」の場合：

- Shift なし（106 キーボード）

- Shift を押した状態（106 キーボード）

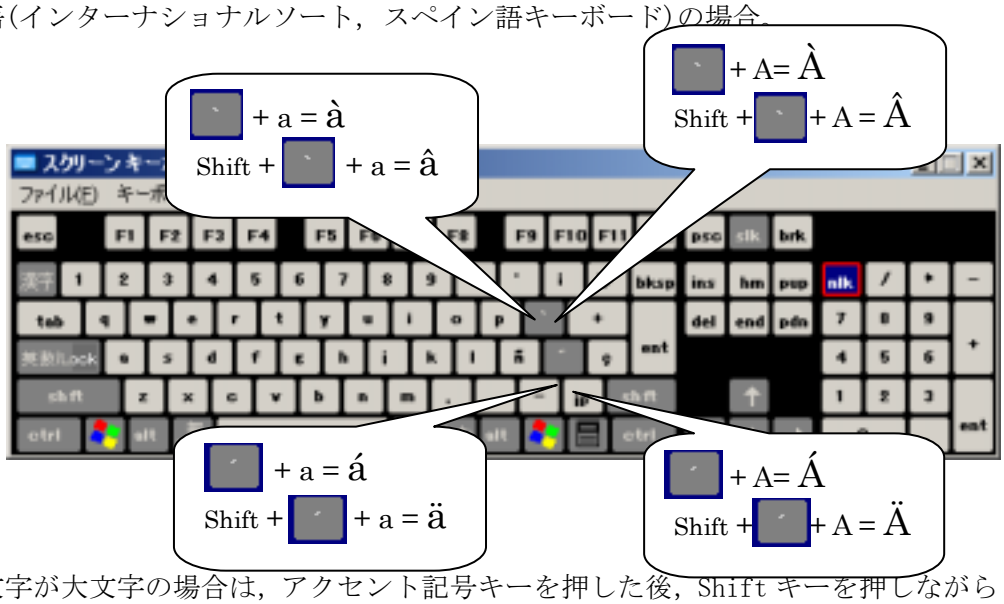
- 右 Alt を押した状態（106 キーボード）

英国キーボードでも，アクセント記号つきの文字の一部やユーロ通貨記号 (€) が

[1] AltGr ともよばれる。これは，システムによっては Gr[a]ph という名前がついているため。

入力できるように工夫されていることがわかる。

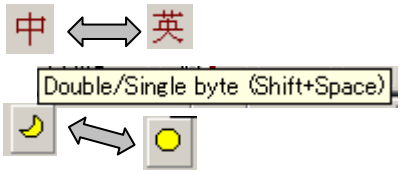
- ヨーロッパ言語の入力ロケールは，地域によってかなり細分化されている。地域によってはキーボード配列がまったく異なることがあるので，注意しよう。たとえば「フランス語(フランス)」と「フランス語(カナダ)」の標準的なキーボード配列は，アルファベットの配列もまったく違う。これは，コンピュータ環境の違いのほか，正書法の違いにより，フランス本国では大文字のアクセント記号を省略するなど，言語の表記法自体の違いによることも大きい。
- アクセント記号つきの文字の入力方法は，言語の入力ロケールによって異なっている。アクセント記号つきの文字があらかじめキーボードに登録されている場合と，**「アクセント記号」キー + アルファベット**の順でキーを組み合わせて入力する場合がある。後者のアクセント記号入力キーは**デッドキー**（dead key）と呼ばれ，スクリーンキーボード上ではグレーで色分けされている。以下は，スペイン語(インターナショナルソート，スペイン語キーボード)の場合。



文字が大文字の場合は，アクセント記号キーを押した後，Shift キーを押しながらアルファベットを入力する。また，記号単体を入力する場合には，アクセント記号キーを押した後，スペースを押す。

2. 中国語(中国)：「微软拼音输入法 Pinyin IME Ver3.0」

- ショートカット
  - 変換はスペースキーで開始し，変換候補の選択は**矢印キー**，確定は Enter キーでおこなう。
  - 英数・中国語入力モードの切り替えは Shift キーでおこなう。
  - スペースと英数字の全角・半角の切り替えは，Shift + スペースキーでおこなう。

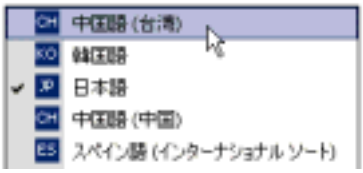


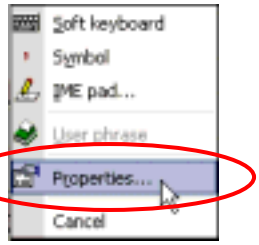
- 入力規則：声調を付けてピンイン入力をおこなう場合はアルファベットの後に数字(1-5, 軽声は 5)をつける。また ü は v で代用する(e.g. 女 nü = nv と入力)。
- 詳細は配布資料「微软ピンイン输入法」を参照のこと。
- 利用の際は，以下の点に注意
  - 簡体字中国語 (大陸) を繁体字中国語 (台湾) に，またその逆に変換するには，Word の校正ツール「中国語の翻訳」等のテキスト変換ツールを用いる。ただし，正しい漢字に変換できるとは限らず，変換の質はその変換ツールが参照する辞書に左右される。台湾むけの中国語テキストを作成する場合には，以下の中国語(台湾)用の入力ロケール (§3.参照) を使用するほうが確実である。

- IME ツールバーにある簡体字と繁体字の選択ボタン を使って漢字候補の字体を変更することができるが，これによって入力できる文字は台湾中国語で入力する繁体字の文字エンコード方式（Big5）と同じとは限らないので注意。台湾むけの中国語テキストを作成する場合には，できるだけ中国語(台湾)用の入力ロケール（§3.参照）を使用すること。
- IME ツールバーの IME パッドは日本語 Windows2000 では利用できなかった（日本語 IME のメニューが誤って起動してしまう）が，Windows XP ではうまく動作する。日本語 IME の機能に似ているので利用してみよう。

3. 中国語(台湾)：「微軟新注音輸入法 New Phonetic IME 2002a」

- キー配列，変換の仕方，英数・中国語モード切り替え，全角・半角切り替えの各操作のショートカットは上述の中国語(中国)と同じである。
- ピンインの入力規則も中国語(中国)と同じである。ただし，以下の点に注意：
  - **台湾で利用される標準の入力法はピンイン入力ではなく，独自の注音符号を用いる**。従って，ピンインで文字入力をする場合，PC によっては IME の入力方法の変更（下記参照）が必要なことがある（ただし大学の PC では不要）。
  - 大学の入力システムのピンインは台湾式で，記述方法が若干異なるということである(『電脳中国学 II』p. 79)。興味ある人は，調べてレポートしてほしい。
- 入力方法の変更：





1. 言語バーの多言語インジケータをクリックし，「中国語（台湾)」を選ぶ「微軟新注音輸入法」の IME が起動する。
2. 言語バーの「Tool menu」ボタンをマウスでクリックし，「Properties」を選択する。入力システムのプロパティが開く。
3. 「Keyboard Mapping」タブを開いて，入力方法を「Taiwan Pinyin」に指定し，OK ボタンを押すとピンインによる入力ができるようになる。(大学の PC の設定は Taiwan Pinyin だが，Han Yu Pinyin [2] を選んでもよい。)

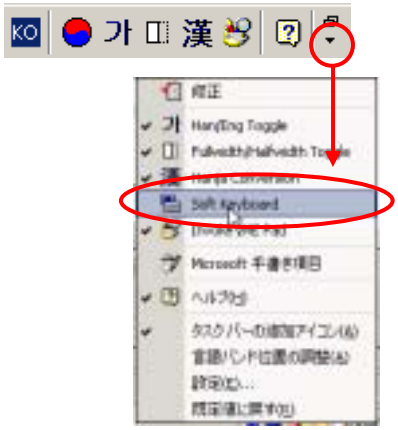
4. 韓国語

- 韓国語のキーボード配列
  - 「スクリーンキーボード」には，ハングルのキー割り当てが表示されない。
  - 下図は Windows Keyboard Layouts による 2 ボル式（2 벌식）のキー配列サンプル（101 キーボード)。入力方式は，他にも 3 ボル式などがあり，キー配列や入力の規則が大きく異なる（一般に 2 ボル式がよく使われる)。

[2] Han Yu Pinyin モードは Windows2000 に搭載されていた旧バージョンにはなかった新しい入力モードであり，中国語(中国) IME とほぼ同じ綴りを使った変換がおこなえる。

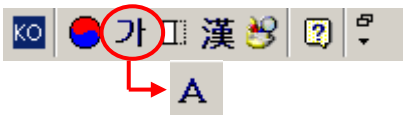
- キー配列を確認できるツールとして，ソフトキーボードを起動してみよう。

1. 「オプション」ボタン▼をクリックし，「Soft Keyboard」を選択する。



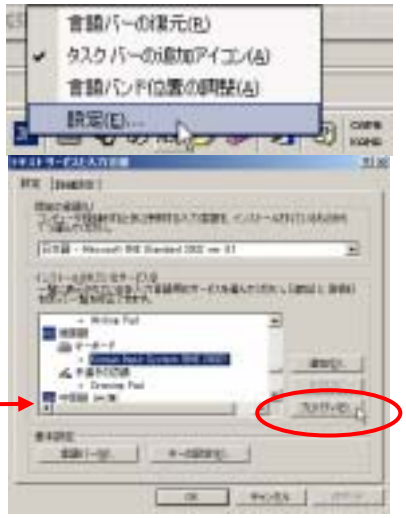
2. 言語バー上にソフトキーボードのアイコンができる。クリックするとソフトキーボードが起動する（起動中も通常の入力が可能）。

- ショートカット
  - 右 Alt キーで，英数字入力とハングル入力を切り替える。
  - ハングルから漢字へ変換する場合には IME ツールバーの[漢]ボタンをクリックする（韓国のキーボードには，漢字変換用のボタンが別についているらしい）。

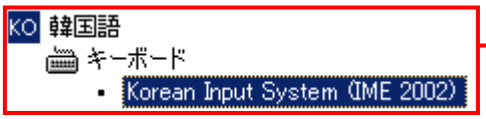


- 入力方法の詳細を変更したい場合，以下の手順で「テキストサービスと入力言語」メニューから設定画面を開く。

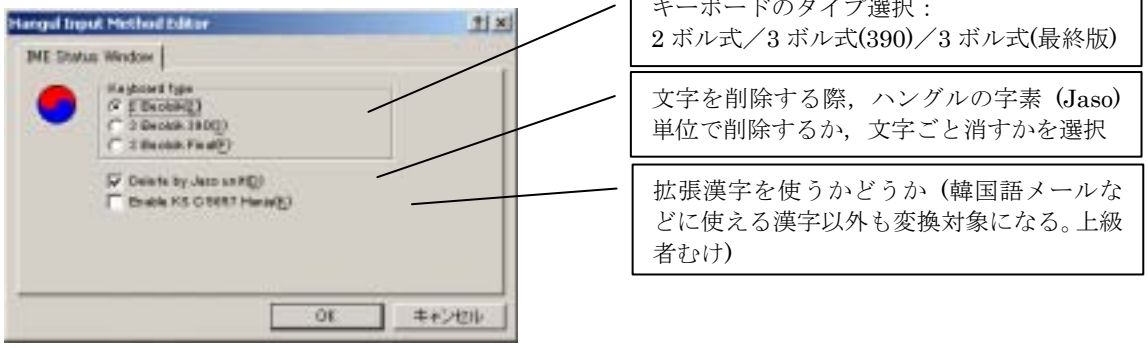
1. 言語バーを右クリックし，「設定」メニューを選択する。「テキストサービスと入力言語」メニューが開く。



2. 「インストールされているサービス」から韓国語を探し，「Korean Input System (IME 2002)」を選択し，「プロパティ」ボタンを押す。IME の設定画面が開く。



3. IME の設定画面の概略は以下のとおり。



(以上)